

## 【図表3】 中東を取り巻く出来事

日時	関係国・地域	出来事
2017 5月下旬	GCC	トランプ大統領の中東歴訪 →親サウジ路線が鮮明となり、後のカタール断交などの引き金に
2017/6/5	カタール	サウジ・UAEら4カ国がカタールと断交を発表 →GCC首脳会合(12/5)でも解決の兆しは見えぬ断交状態継続
2017/6/21	サウジアラビア	ムハンマド・ビン・サルマン副皇太子(MbS)が皇太子に昇格 →MbSの権力基盤が確立し、改革加速へ
2017/9/25	イラク	クルド人自治区で独立の是非を問う国民投票実施 →キルクークへのイラク軍侵攻などをうけ、独立の動きを凍結(10/24)
2017/10/13	イラン	トランプ政権がイランのJCPOA履行を否認 →米国の対イラン制裁復活、対イランビジネス抑制の可能性
2017/10/20	イラク・シリア	7/10にモスル陥落(イラク)に続きISISの「首都」とされたラッカ(シリア)が陥落 →12/7にシリアで掃討完了(勝利)宣言
2017/11/4	レバノン	ハリーリ首相が辞任を表明(12/5に正式撤回) →イランの影響下にあるヒズボラ対策に不満を持つサウジの圧力
	サウジアラビア	王族を含む政財界の要人を汚職撲滅の名目で拘束、財産の没収 →改革の推進、国民の支持獲得を視野に入れた強攻策の実行
2017/11/23	シリア	ロシア主導で「シリア国民対話会議」実施を提唱 →アサド大統領派が優勢の中、反体制派は対話に応じず勢力争いは継続
2017/12/4	イエメン	フーシ派が、内戦で共闘していたサレハ前大統領を殺害 →サウジアラビアとイランの代理戦争がさらに混沌化する可能性
2017/12/5	イスラエル	トランプ大統領がイスラエルの首都をエルサレムと公式認定 →大使館移転も予定されており、抗議デモ発生等、アラブ諸国との摩擦激化
2017/12/28	イラン	イラン各地で反政府デモ発生(1月中旬には沈静化) →行政府批判だけでなく、最高指導者批判も
2018/1/12	イラン	トランプ大統領はJCPOAに基づく核関連制裁の停止措置継続を発表 →制裁リスト追加、JCPOAが修正されない場合の合意撤退を示唆
2018/1/18	トルコ・シリア	クルド人勢力(PYD)の排除を目的にトルコ軍がシリア(アフリーン)に侵攻 →米軍のシリア駐留長期化表明など、諸外国の利害が交錯
2018/1/19 -1/23	エジプト・ヨルダン ・イスラエル	ペンス副大統領がエジプト、ヨルダン、イスラエル訪問 →イスラエル国会で米国大使館を2019年末までに移転すると言明

出所：各種報道資料を元に丸紅経済研究所作成